

JARI-RB 審査ニュース

第139号

[2008年10月15日]

財団法人 日本自動車研究所
審査登録センター (JARI-RB)

「IS09001:2008 規格改訂説明会のご案内」のお知らせ

すでに弊センターのホームページ(「更新情報・お知らせ」)に掲載しておりますように、品質マネジメントシステムの国際規格IS09001は本年11月にIS09001:2008の発行が予定されています。現行規格IS09001:2000からの改訂の目的は次の通りで、現行規格の大幅な変更を行わず、追補版として発行されます。

＜改訂の目的＞

- ①規格要求事項の明確化
- ②現行2000年版規格の解釈の曖昧な部分の明確化
- ③IS014001:2004との整合性の改善

この規格改訂に伴い、既にIS09001:2000の認証を取得されているお客様については、国際規格IS09001:2008の発行後24ヶ月以内に、IS09001:2008を基にシステムの見直しと改訂作業を終えてから、移行審査を受けて頂く必要があります。

規格改訂への移行で対応すべき内容(システムの見直し)は概略、以下の通りと考えます。

- ①必要な場合、品質マニュアル、及び関連する基準書の改訂
- ②規格改訂に則った(即ち改訂された品質マニュアル、基準書に則った)内部監査並びにマネジメントレビューの実施

規格改訂への理解向上及び移行審査への対応のために、弊センターでは「IS09001:2008 規格改訂説明会」を本年12月に計4回開催いたします。詳細は今月号に添付されている「IS09001:2008 規格改訂説明会のご案内」をご参照下さい。

規格改訂説明会の内容は以下の通りです。

- ①IS09001:2008年版の改訂内容の説明、並びに受審されるお客様の対応についての説明、質疑応答
- ②有効性審査についての最近の動向
- ③審査全般に対する質疑応答

お客様の規格改訂移行に伴う準備の一助として、この「規格改訂説明会」(会費無料)への参加をお薦めします。更にお客様のお知り合いで、IS09001に興味をお持ちの企業様にも参加を促して頂きますようお願い致します。

初回登録(環境)

登録番号	登録日	登録者名	登録範囲
JAER0770	2008.9.5	ジェイピーシー グループ	工作機械用クーラント濾過装置、金属製品用洗浄機等の設計、製造

更新登録(環境)

登録番号	更新日	登録者名	登録範囲
JAER0118	2008.9.25	いすゞ自動車株式会社 藤沢工場	自動車の製造
JAER0121	2008.9.25	スズキ株式会社 大須賀工場	鍛造部品の製造、機械加工
JAER0122	2008.9.25	スズキ株式会社 相良工場	四輪車エンジンの鍛造、機械加工、組立

登録番号	更新日	登録者名	登録範囲
JAER0391	2008. 9. 22	株式会社関東シート製作所 相模原工場	自動車用内装部品の製造
JAER0392	2008. 9. 22	東京スリーブ株式会社	自動車用エンジン部品及び産業機械用部品の製造
JAER0393	2008. 9. 22	共栄工業株式会社	自動車用ファスナー並びに自動車用プレス部品、自動車用切削加工部品及びプレス加工を主とした各種部品の製造
JAER0394	2008. 9. 22	株式会社三和化成	自動車用樹脂成形部品及び工業用プラスチック製品の製造
JAER0395	2008. 9. 22	株式会社ミフネ	自動車用金属プレス部品の製造、溶接、組立て、並びに金型の製造
JAER0397	2008. 9. 28	豊和繊維工業株式会社 厚木工場	自動車用内装部品の製造
JAER0399	2008. 9. 28	三恭金属株式会社 豊田工場	デスク、物置、建設機械、オートバイ用各種シリンダー錠及び燃料タンクキャップの製造
JAER0400	2008. 9. 28	大東工業株式会社 本社・本社工場	アルミ自動車部品の製造
JAER0401	2008. 9. 28	株式会社タイコー	組付け治具の設計、試作及び製造
JAER0664	2008. 9. 1	株式会社フジプロダクション	自動車用内装部品の加工
JAER0665	2008. 9. 2	有限会社芳賀自動車	自動車の販売、整備及び修理
JAER0666	2008. 9. 9	豊田汽缶株式会社	機械・設備の修理、保全
JAER0667	2008. 9. 9	株式会社ケージケー※	機械加工装置の設計・製造、開発試作品製造、少量部品加工・HEXA事業部の拡大
JAER0668	2008. 9. 16	岡山日野自動車株式会社	自動車の販売、整備及び修理
JAER0669	2008. 9. 16	守野工業株式会社	金属部品のプレス加工及び組立
JAER0671	2008. 9. 30	ネットヨタ栃木株式会社※	自動車の販売、整備及び修理 ・真岡店、レクサス小山の拡大
JAER0672	2008. 9. 30	株式会社泰成工業所 竜ヶ崎工場	金属プレス並びに切削・溶接による自動車部品及び産業用機械部品の製造
JAER0684	2008. 9. 28	株式会社MARUWA 直江津工場・春日山工場	EMC対策部品の設計・開発・製造及び販売

登録拡大（環境）

登録番号	発効日	登録者名	登録範囲
JAER0189	2008. 9. 26	トヨタ紡織株式会社 大口工場	・木曽川工場：JAER0120と統合 ・TB物流サービス株式会社 木曽川営業所の拡大
JAER0274	2008. 9. 26	埼玉トヨタ自動車株式会社	レクサス川越の拡大

※登録組織の拡大を含む

登録情報の詳細はJARI-RB ホームページ（<http://www.jari-rb.jp/>）をご参照下さい。

登録拡大（品質）

登録番号	発効日	登録者名	登録範囲
JAQR0155	2008. 9. 24	株式会社ケー・ジー・ケー	・HEXA事業部の拡大

環境関連法規等の動き (08/8/22~08/9/25)

「特定家庭用機器の品目追加・再商品化等基準」の報告書

(経済産業省・環境省2008年9月22日)

1. 再商品化等基準の在り方について

- (1) 全体の考え方：現行の技術水準を鑑み、妥当な水準で再商品化等基準を引上げる。
- (2) 対象品目：液晶とプラズマは同一区分、小型の液晶テレビも対象、衣類乾燥機は洗濯機と同一区分。
- (3) 素材回収の効率の考え方
 - ① 金属の素材回収効率を80%から95%へ、中・高品質なプラスチックを再商品化等基準に加える。
 - ② 液晶テレビ・プラズマテレビの高品位の制御基板のみを再商品化等基準の算出対象とする。
 - ③ 追加品目のパネル部分のリサイクルについては2014年を目標とする。

2. 再商品化等基準の設定

- ・エアコン及び電気冷蔵庫・電気冷凍庫は従来値より10%引上げ、電気洗濯機・衣類乾燥機は15%引上げ。
- ・液晶テレビ・プラズマテレビは現時点では50%に設定（パネルリサイクル後は60%に引上げ）。
- ・ブラウン管式テレビは当面現状維持（将来的にリサイクル需要減少を想定）。

3. 生活環境の保全に係るヒートポンプ式洗濯機に使用されるフロン類については適正な回収・破壊の義務化

「小売業者による排出家電のリユース・リサイクル仕分け基準作成のためのガイドラインに関する報告書」

(経済産業省・環境省2008年9月22日)

1. 小売業者の引渡義務実施の適正化を図る。リユース・リサイクルの仕分けガイドラインを策定する。

2. 小売業者が自主的に「リユース」と「リサイクル」の仕分け基準を作成していくことを想定している。

(1) 製品性能に関するガイドライン

- ① ガイドラインA（家電リサイクル法遵守に資するガイドライン、15年前後使用の機器類を想定）
リサイクルのために製造業者等へ引き渡すべきであるか否かの判断に資するガイドライン
- ② ガイドラインB（適正リユースの促進に資するガイドライン、7年前後使用の機器類を想定）
リサイクルよりもリユース品市場に回す方が望ましいという場合を示すガイドライン
なお、年式が（使用年数）がAとBの間に入る使用機器類の場合の判断は小売業者による。

(2) 使用済家電のトレーサビリティに関するガイドライン

リユースに係る契約書内容の明確化・文書化、引取り使用済家電に関する記録・管理、引渡先での把握等

法令情報

「農林漁業有機物資源のバイオ燃料の原材料としての利用の促進に関する法律の施行期日を定める政令」

(政令第295号)

「農林漁業有機物資源のバイオ燃料の原材料としての利用の促進に関する法律施行令」

(政令第296号)

公布 : 2008年9月19日

施行日 : 2008年10月1日

1. バイオ燃料の種類：①木炭（竹炭を含む）②木竹に由来する農林漁業有機物資源を破砕することにより均質にし、乾燥し、かつ、一定の形状に圧縮成形したもの③エタノール④脂肪酸メチルエステル（バイオディーゼル燃料と呼ばれている）⑤水素、一酸化炭素及びメタンを主成分とするガス⑥メタン
2. バイオ燃料を製造する事業協同組合等は事業共同組合、協業組合、農業協同組合連合会等の法人6種。
3. 新エネルギー政策目標との関係
 - (1) バイオマス熱利用：原油換算308万kLの導入見込みとし、そのうち50万kLの輸送用燃料を導入。
 - (2) 輸送用燃料の内容：ETBE混合ガソリン、エタノール混合ガソリン（E3）、バイオディーゼル（BDF）
4. 参考：2008年9月25日、総合資源エネルギー調査会新エネルギー部会の中間とりまとめ（緊急提言）として【新エネルギー政策の新たな方向性 ― 新エネルギーモデル国家の構築に向けて ―】が公表された。

受審者からひとこと**ISO9001認証取得にあたり**

株式会社 デンソーリマニ
前代表取締役社長 山田謙一

1. 会社紹介

当社は愛知県安城市に所在し、株式会社デンソーが100%出資する子会社で、自動車部品に使われるスタータ・オルタネータのリサイクル品を生産する会社として、2000年6月に設立されたものです。一度使われたものを高品質に再生し、補修品市場へ提供することで、環境に優しく、社会貢献に寄与することを使命としており、経営理念にも次の4点を折り込んで活動しています。「グローバルなリサイクル促進」「地球環境への貢献」「人に優しい職場づくり」、そして「自然との共生」ですが、特に長年培ってきた経験・知識とスキルを反映できる本事業活動は、社員、経営者、顧客と3拍子の満足を与えるものであり、自動車リサイクル法を遵守する一員としても、より発展成長を期待されるものとなっていました。

2. 導入の背景

社員62名という中・小企業ではありながら、求められるのは「デンソーブランド」という大企業が育てあげた大切な品質でした。社員の大半がデンソーOB又は出向者の当社において、それは容易であると自負し、事実それはかなりの点で実現されていましたが、リサイクルの対象部品・対象アッセンブリを拡げていくに当たって、現在のしくみ、ツール、そして個人の持つスキルへの依存体質では、不備であること、即ち綻びが少しずつ表面化してきておりました。親会社から授かった技術ノウハウや個人のスキルが生かせないようになってきているとしたら、自社で積み上げた蓄積技術が少しでも財産(資源)から漏れるようになっていくとしたら、それは経営者・管理者に求められる責任です。会社運営方針の立案・展開は当然のこととして、より強固なものづくり体質を目指しての手段として、ISO9001の認証を取得することは、必要不可欠なものとなっていました。

3. 認証取得への取り組み

2007年4月にISO9001認証取得に向けての取り組みを開始しました。小さな会社でもあり、社長自らが推進事務局リーダーを兼務することを宣言しての船出でしたが、最後は社員の皆々がやってくれる、乗り切ってくれるという大きな期待を持ってのスタートでした。リーダーとしてまず心掛けたことには二つあります。

一番目は、当社規模に見合ったスリムな品質マニュアル、会社規定を構築することです。デンソーウェイを尊重する中では、それはまた頭のリセットと発想転換を求めるものでもあり、なかなか簡単なことではありませんでした。

二番目は推進体制組織づくりであり、牽引役になる人の確保と教育でした。私を含め計8人がISO講習会に参加し、発想の若返りとあらためての知識導入、そして自覚を持って頂きました。

形は整えたものの兼務組織では、思いとはうらはらに文書整備すら遅々として進まないものでした。次々と出てくる課題、マニュアルと作業実態との不整合、あるべき姿の文書欠如等、予想を超える課題の浮き彫りはある意味嬉しいものでもあり、社員のモチベーションUPには十分足るものでした。専任を設けての努力の結果、認証取得はまさに滑り込みセーフとなりましたが、皆の思いは真の体質強化への出発点でした。

4. 今後の活動

認証取得で会社体質強化の助走を踏み切ったわけですが、品質マネジメントシステムを定着させることが、今後の重要課題であること、そして、ものづくりの原点を確かなものにすることで、顧客満足に繋がることも皆の共通認識となりました。

認証取得と同時に社長交代となり課題を多く残してしまいましたが、志並びに継続的改善意欲は、社員、新社長ともども引き継いでおり、暖かく見守って頂きたいと思うものです。

最後になりましたが、今回の認証取得にあたりご協力頂きました皆様、関係会社様にお礼と感謝を申し上げます。



発行所 財団法人 日本自動車研究所 審査登録センター
〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30日本自動車会館12階
TEL 03-5733-7934 (代表) FAX 03-5401-2834
ホームページアドレス <http://www.jari-rb.jp/>
発行責任者 上級経営管理者 黒田 哲平

通 巻 第139号 2008年10月15日
編集人 渉外・業務部 部長 茂木 政則
印刷所 株式会社 高山
茨城県つくば市荃崎1887
送付先変更連絡アドレス rb-news@jari.or.jp



2008年10月15日
財団法人日本自動車研究所
審査登録センター

ISO 9001 : 2008 規格改訂説明会のご案内

品質マネジメントシステムの国際規格 ISO9001 は本年11月頃に ISO9001 : 2008 改訂版が発行されます。弊センターでは、この改訂を受け、ISO9001 : 2008 規格改訂の説明会を開催致します。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

◆開催日時 (13:10 受付開始)

- | | | |
|---------|----------------------------|---------|
| 1. 東京会場 | 2008年12月3日(水) 13:30~16:30 | 定員 120名 |
| 2. 静岡会場 | 2008年12月5日(金) 13:30~16:30 | 定員 60名 |
| 3. 豊田会場 | 2008年12月17日(水) 13:30~16:30 | 定員 150名 |
| 4. 大阪会場 | 2008年12月18日(木) 13:30~16:30 | 定員 100名 |

◆開催場所

1. 東京会場 日本赤十字・本社 201 大会議室(2F) : 港区芝大門 1-1-3 TEL:03-3437-7515
2. 静岡会場 静岡商工会議所 403 会議室(4F) : 静岡市葵区黒金町 20-8 TEL:054-253-5111
3. 豊田会場 豊田産業文化センター 大会議室(4F) : 愛知県豊田市小坂本町 1-25 TEL:0565-33-1531
4. 大阪会場 池田商工会議所 大会議室(2F) : 大阪府池田市城南 1-1-1 TEL:072-751-3344

※会場の詳細については弊センターのホームページをごらんください。

◆参加費用 : 無 料

◆申込期限 : 2008年11月21日(金)

- ◆申込方法 : 参加ご希望の方は、「参加申込書」に必要事項をご記入の上 FAX にてお申し込み下さい。
弊センターで受け付け後、参加票を FAX で返送します。当日は、代表申込者以外の出席者の名刺を貼り付けの上、受付にご提出ください。尚、申込者多数の場合は、先着順とさせていただきます。

◆主 催 : 財団法人日本自動車研究所 審査登録センター

〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館 12 階

お問い合わせ先 : 電話 03-5733-7934 渉外・業務部

◆プログラム

- | | | |
|-------------|-------------------------|---|
| 13:10 | 受付開始 | |
| 13:30~13:40 | 開会の挨拶 | |
| 13:40~15:00 | ISO9001 : 2008 規格改訂について | ☐ 規格改訂内容の説明、審査での対応 |
| 15:00~15:30 | 質疑応答 | |
| 15:30~15:40 | 休憩 | |
| 15:40~16:00 | 有効性審査について | ☐ 最近の動向を解説 |
| 16:00~16:25 | 審査全般に対する質疑応答 | |
| 16:25~16:30 | 閉会の挨拶 | |

◆その他

会場の都合上、一登録組織あたり2名様までとさせていただきますが、2名様以上のご来場を希望される場合は別途ご相談に応じますので、渉外・業務部の事務局までご連絡の程よろしくお願いいたします。

送信方向

FAX : 03-5401-2834

(財) 日本自動車研究所 審査登録センター：渉外・業務部 事務局 行

「ISO9001:2008 規格改訂説明会」参加申込書

1.	会 場	☐ 東京会場 ☐ 静岡会場 ☐ 豊田会場 ☐ 大阪会場
2.	会社名	
3.	部署名・役職	
4.	申込代表者氏名	ふりがな
5.	連絡先	TEL: FAX:
6.	電子メールアドレス	@
7.	参加人数	名 (1 登録組織当り原則 2 名様迄)
8.	JARI-RB 登録番号	☐ JAER ☐ JAQR ☐ その他
9.	8 項でその他の方	☐ 他認証機関で取得済で登録移転を検討中 : 認証機関名 _____ ☐ ISO9001 認証取得を検討中 ☐ その他 ()

参加受付・確認書

参加申込の記載内容のとおり受理致しました。

なお、ご名刺を貼り付け後、受付にご提出ください。

受付印

(ご名刺貼り付け欄)

代表申込者以外の出席者の名刺貼り付け、
当日受付にご提出ください。